|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ６年 | | | ボール運動「ネット型」　キャッチボール単元指導計画（案） | | | | | | | | 体育館 |
| 単元目標 | 知識及び技能 | | | | ネット型の行い方を理解するとともに、個人やチームによる攻撃と守備によって、簡易化されたゲームをすることができるようにする。 | | | | | | |
| 思考力、判断力、表現力等 | | | | ネット型のルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 | | | | | | |
| 学びに向かう力、人間性等 | | | | ネット型に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取り組みを認めたりすることができるようにする。　場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。 | | | | | | |
|  | 時間 | １ | | ２ | | ３ | ４ | ５ | ６ | ７ | |
| 学習の流れ | ０  ５  ２０  ４５ |  | | １．整列・あいさつ　　２．準備運動  基礎感覚運動　・投げあげたボールを様々な姿勢でキャッチ　・ボールタップ練習（両手・手のひら・腕）・ボール運びゲームチームで円になり名前を呼びながらパスを回していく。（発展：右に回りながら・動きながら）　　　３．めあての確認 | | | | | | | |
| 【めあて】  キャッチボールの学習の流れを確認しよう。 | | 【めあて】  相手のコートに落とす方法を考えてみよう。 | | 【めあて】  相手のコートに落とす方法を考えてみよう。 | 【めあて】  味方のコートに落とさせない方法を考えよう。 | 【めあて】  味方のコートに落とさせない方法を考えよう。 | 【めあて】  キャッチ１回にチャレンジしてみよう。 | 【めあて】  キャッチバレーボール大会に取り組もう。 | |
| **４ オリエンテーション**  ・学習の進め方  ・場づくり  ・基本のルール確認  ・チーム分け（４～５名）  ・ビブス　・片付け  〈運動の特性〉  ○相手のコートにボールを落としたら勝ち、味方のコードにボールを落とされたら負け  **５　基礎感覚運動**  **６　キャッチバレーボールをやってみよう**  場を確認しながら、チャレンジしみてよう。  ７　チーム練習  　キャッチバレーの楽しさを味わうために、セッターの役割を確認  ８　ゲームをやってみよう  ９　今日のゲームの楽しさを確認する | | ４．活動①　ゲーム①  　相手のコートにどうやったらボールを落とせるか考えてみよう。 | | ４．活動①  　相手コートにボールを落とすためには、チーム内でどのような役割分担をするといいのか考えよう。  ※ブロックされるようにな⇒攻撃の困り感 | ４．活動①  　味方のコートに落とさせないためにどうしたらいいかを考えよう。  　・守りの立ち方、位置  　・ブロック | ４．活動①  　味方のコートに落とさせないためにどうしたらいいかを考えよう。 | ４．活動①  ※ルールの変更  キャッチを１回に変更する  攻め方・守り方を話し合い、チャレンジさせる。  人数を増やして戦う。（例：５対５） | ４．活動①  攻め方・守り方を話し合い、チャレンジさせる。  人数を増やして戦う。（例：５対５） | |
| ５．きらりタイム…友だちやチームの動き等から、うまくできるコツや友だちの良い点等を全体で確認する。 | | | | | | | |
| ６．活動②  チーム練習（話し合い）  ※２番目（セッター）が「落としやすいボール」をあげることがとても大事⇒２番目（セッター）がネットに背を向けて構えることを共有したい。  ７．ゲーム②  　ゲームの中でセッターの動きを確認する。 | | ６．活動②  チーム練習（話し合い）  ブロックをかわすためにどうしたらいいだろう？  ※攻撃の選択肢  バックアタック、クロス攻撃、オープン攻撃、移動攻撃など  ７．ゲーム②  　チームの特徴を生かした戦術が見られるようになる | ６．活動②  チーム練習（話し合い）  　ボールを落とさせないためには相手の攻撃に合わせて、守り方も工夫していく必要性を感じることができるようにしたい。  ７．ゲーム②  　相手に合わせて守り方を工夫する | ６．活動②  チーム練習（話し合い）  ※相手チームに合わせて戦術（守り）を変える姿が見られるようにしたい。  ７．ゲーム②  相手に合わせて守り方を工夫する | ６．活動②　ゲーム②  ※セッターの位置でボールをキャッチすることができれば、攻撃の幅が広がりやすいことに気付かせるたい。 | ６．活動②　ゲーム②  攻め方・守り方を話し合い、チャレンジさせる。  **※運動の楽しさや喜びを味わうために取り組んだことを伝え合うようにする**。 | |
| ☆ふり返り（できるようになったこと、むずかしかったこと、楽しかったこと、友だちの良い所、次がんばりたいこと等。必要に応じて**実技と結びつけて発表させる**） | | | | | | | | | |
| 評価規準 | 知・技 |  | | ○ | |  | ○ |  | ○ | 総括的評価 | |
| 思判表 |  | |  | |  | ○ | ○ |  |
| 主体的 | 〇 | |  | | ○ |  |  | ○ |

　作成：体育科指導ＣＯ金城